

田尻だより

平成 18 年
12月号
Vol. 45

次回の田尻便りは
1月発行予定!

11月26日、田んぼの土壌採取
をしました。



取った土は、
普及センターで分析してもらいます。

暦は師走となりました。外はいよいよ寒さを増し、本格的な冬の到来を告げています。田んぼのわら上げを早く終わらせたいのですが、なかなかワラが乾かず、時々思い出し、たように雨が降ったり深い霧が発生したりで、作業は停滞気味です。

「まるで修学旅行？」
田んぼや沼、河川では、雁をはじめ白鳥やカモの姿がよく見られるようになりました。この時期は、田尻に最も多く渡り鳥が見られます。それは、まるで学生の修学旅行のような印象を受けます。シベリアから家族単位で渡って来る様子は、まるでクラスごとのバス移動のよう。そして現地（田尻）で集合し、しばらくは比較的大き

田んぼに落ちている穂の数は意外と多く、おそらくそれを食べに来たのであろう鳥の羽も落ちていました。



今年もゆくり羽を休めて
いてほしいものです。

な集団で過ごしてから、次第に班ごとに分かれて自由行動をとるようになる：すなわち小さな家族ごとに分かれて過ごし、越冬するようになっていきました。鳥の声に空を見上げると、この時期特有の大きな陣形を作りながら、多数の雁たちが飛んで行きます。合理的な集団行動をとろうとするとき…。人も鳥も、結局同じ答えに行き着いてしまうのですね。

米 暦 ~こめごよみ~

11月6日 }
14日 } 米検査をしました。
21日 }
28日 }
11月7日~10日 } ワラ上げを
11月13日~15日 } しました。
11月26日 土壌採取をしました。
雨でなかなかワラ上げが
できません。

嫁日記

11月25日。2歳半の娘の、初めてのお遊戯会を見ました。私の心配とは裏腹に、真剣な顔で上手に踊る娘の姿に、思わず目頭が熱く…。

「人間は二度生まれる」と説いたのはフランスのルソー。ならば私はこう言いたい。「女は三度生まれる。三度目

は母として。」子供ができてから、自分の内面は驚くほど変わりました。中でも一番変わったと感じるのは、とても涙もろくなったこと。

何でもかんでもすぐホロリ。泣く子供を預けるときなど、つい涙が出そうになったり。「こんなことで泣かなくても」と思いつつ泣いている自分が、ちょっぴり怖いなあ…。